



令和元年10月29日

## 広島大学長表彰等の授与式について

令和元年度の広島大学長表彰等の被表彰者を決定し、以下のとおり、ホームカミングデーのオープニングセレモニー内において、授与式を執り行います。

「広島大学長表彰」制度は、平成14年度に創設し、教育・研究や社会貢献などで特色ある顕著な業績を挙げ、広島大学の発展に貢献した本学教職員や団体および学外の個人や団体を表彰するものです。

また、「広島大学教育賞」制度は、平成28年度に創設し、本学における教育の実践において顕著な成果を挙げたと認められる教員を顕彰することにより、教員の意欲向上並びに教員の教育方法及び教育技術の向上を図り、もってより優れた教育の推進に資することを目的に表彰するものです。

## 記

日 時：令和元年11月2日（土）10：10～

（広島大学ホームカミングデーのオープニングセレモニー内）

場 所：広島大学東広島キャンパス サタケメモリアルホール

各表彰：（1）広島大学長表彰 【5人及び1団体】

広島大学の発展に貢献した者を表彰

（2）Phoenix Outstanding Researcher Award 【3人】

若手研究者（45歳未満の准教授・講師・助教）のうち、

平成30年に執筆した論文数の多かった大学教員を表彰

（3）広島大学教育賞 【3人】

教育の実践において顕著な成果を挙げたと認められる者を表彰

※ 被表彰者の氏名は別紙のとおり。

《参考》広島大学長表彰について

広島大学トップページ>大学案内>受章・表彰>学長表彰

[http://hiroshima-u.jp/about/awards/presidents\\_awards](http://hiroshima-u.jp/about/awards/presidents_awards)

広島大学トップページ>大学案内>受章・表彰>広島大学教育賞

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/awards/kyoikusho>

【お問い合わせ先】

広島大学長表彰他（1）・（2）

財務・総務室人事部 人事グループ 守永 将彦

TEL:082-424-4404 FAX:082-424-4612

E-mail : fukumu-fukumu@office.hiroshima-u.ac.jp

広島大学教育賞（3）

教育室教育部 教育支援グループ 伊藤 雄章

TEL : 082-424-4317 FAX : 082-424-6170

E-mail: kyoiku-kikaku@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 2枚（本票含む）

## 令和元年度広島大学長表彰 被表彰者

【個人】5名(学外1名, 学内4名)

所属	職名	ふりがな 氏名	業績概要
体育会剣道部	名誉師範	ふじわら たかお 藤原 崇郎	広島大学体育会剣道部を長年に渡り指導され 指導を受けた学生が中四国地区大会のみならず、西日本及び全国大会での顕著な戦績を残すなど 本学学生の課外活動の推進を通じ 本学の発展に顕著な貢献をされました。
技術センター	技術専門職員	ごとう きみのり 後藤 公徳	平成8年放射光科学研究センター設立当初から基幹設備である放射光加速器の運転・維持・管理に中核的な役割を果たし、年間150日に及ぶ放射光ビームの安定供給により共同利用・共同研究拠点活動の基盤を支えるとともに装置の更新・高度化にも取り組み、本学の研究力の強化・国際化に貢献されるなど本学の発展に顕著な貢献をされました。
宇宙科学センター	特任助教	ささだ まひと 笹田 真人	地球規模の広域にわたる電波干渉計観測網によるEHT (Event Horizon Telescope) プロジェクトに参加し、宇宙のブラックホール・シャドウの世界初の撮影に成功され、超重力下における物理や銀河の形成進化を探る研究の進歩に寄与するなど、本学の発展に顕著な貢献をされました。
大学院医系科学研究科	講師	なかつ ゆうすけ 中津 祐介	過栄養状態では脂肪細胞のPin1が増加し、PRDM16分解を誘導することで基礎代謝量が低下することを発見し、肥満発症の根幹となるメカニズムを解明され 肥満や糖尿病などの生活習慣病の改善に応用できる可能性を示されるなど、本学の発展に顕著な貢献をされました。
大学院理学研究科	准教授	はやさか やすたか 早坂 康隆	大学院生及び研究員とともに島根県津和野町において25億年前の日本最古の岩石を発見され、大陸から分離される前の原日本列島の形成過程解明の知見を発信するなど、本学の発展に顕著な貢献をされました。

【団体】1団体(学内1団体)

所属	職名	代表者	業績概要
カンボジア児童の 歯科支援活動	代表	こうさい かつゆき 香西 克之 大学院医系科学研究科教授	2009年度よりカンボジアにおいて、歯科健康診査の経験のない子どもたち延べ約12,000人に対して健診や歯科治療を実施したほか、小学校教員や教員養成校の学生に歯科保健指導の方法を教育し、小学校単位での歯科保健指導の定着や齲蝕の減少を導いて来られるとともに、日本とカンボジアの歯科医療を支える人材の育成に尽力されるなど本学の発展に顕著な貢献をされました

## 令和元年度 Phoenix Outstanding Researcher Award 被表彰者(学内3名)

所属	職名	ふりがな 氏名	業績概要
大学院工学研究科	准教授	かねざし まさこと 金指 正言	本学の若手研究者として研究活動に邁進し、多くの学術研究論文を執筆されるなど、優れた研究業績を挙げられ、本学の研究力の向上に顕著な貢献をされました。
大学院教育学研究科	准教授	とみかわ こう 富川 光	
大学院工学研究科	助教	ながさわ ひろき 長澤 寛規	

## 令和元年度 広島大学教育賞 被表彰者(学内3名)

所属	職名	ふりがな 氏名	業績概要
大学院先端物質科学研究科	教授	しまはら ひろし 嶋原 浩	長年にわたり、数多くの授業や学生の研究指導を担当すると同時に、教育効果を高めるためのカリキュラム改革を推進し、モデルシラバスを作成するなど、広島大学の物理学教育に大きく貢献されました。授業の実践では、教材や配布資料を工夫するなどの優れた指導により、高度な内容を分かりやすく伝え、特に授業の熱心さや教育方法に関して受講生による授業評価アンケートにおいて常に高く評価されています。「My Best Teacher」として学生からの推薦も得ています。
大学院社会科学研究科	准教授	やすたけ こういち 安武 公一	クラウドサービス等のICTを活用して、学生が教員や他の学生と活発にコミュニケーションをとりながら学習活動を展開できる学習空間を創出し、これが新規の教室設計の際のモデルとなるなど、広島大学の教育改善に大きく貢献されました。アクティブラーニング型システムの導入により、学生の学習意欲や研究意欲が高まり、学部生が国際会議で発表可能なレベルの論文を完成させるなどの成果も挙がっています。「My Best Teacher」として学生からの推薦も得ています。
大学院統合生命科学研究科	教授	やまだ としひろ 山田 俊弘	教養教育、専門教育、大学院教育を通じて、プレゼンテーションやディスカッションの重視、クリッカーやキャッチボックス等の技術を導入した学生参加型講義の実践、東広島キャンパスと東千田キャンパス間の双方向授業など、教材開発や授業方法の工夫により、広島大学の教育の質を向上させました。また、英語のみで修了できるカリキュラムの運営と実施に尽力し、教育のグローバル化の推進に貢献されました。「My Best Teacher」として学生からの推薦も得ています。

(学外, 学内, 五十音順に記載)